

松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| 研究の名称                                 | 口腔扁平苔癬の治療経過に関する検討  |
| 研究責任者                                 | 口腔顎顔面外科学講座・教授 芳澤 享子  |
| 研究期間                                  | 2020年5月11日～2025年3月31日  |
| 研究の目的・概要                              | 口腔扁平苔癬は2017年の新WHO分類で口腔潜在性悪性疾患と位置づけられた角化を伴う粘膜疾患であります。その病態は多岐にわたり、時にびらんや潰瘍を伴った紅斑病変となり、患者は不快症状や接触痛、日常生活に支障をきたすこともある難治性の疾患です。一方、本疾患は現在までの所原因は不明で、その発生機序についても不明な点が多く、診断や治療方法に苦慮することがあります。今回は後ろ向き試験により口腔扁平苔癬の臨床学的診断と病理組織学的診断の比較、治療方法、薬物療法だけでなく、口腔ケアを導入した症例と薬物療法のみ症例との2群に分類、後ろ向き研究で検証し、診断、経過を評価することを目的とします。 |
| 利用又は他機関に提供する情報                        | 2016年4月～2021年3月までに松本歯科大学病院で口腔扁平苔癬の診断、治療を受けられた方の以下の試料・情報を利用します。<br>試料：口腔内写真、エックス線写真、病理組織写真等<br>情報：氏名、性別、年齢、疾病名、治療内容、治療期間、治療経過等  |
| 試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供する場合はその方法を含む) | 得られた試料・情報は性別、年齢、発症部位、細胞診・生検施行の有無と結果、治療内容と経過などを評価する目的に使用されます。データに関しては、研究中は名前を非表記とし、匿名化して管理を行います。全ての施設のデータは松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座に置く外付けHDDで管理します。分析に使用する外付けHDDはデータの流出を防ぐためパスワード保護を行い、インターネットに接続しない環境に置きます。研究結果はノートあるいはデータファイルとしての形で記録に残します。得られた成果は、個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます。当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません。     |
| 試料・情報を利用する者の範囲                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔顎顔面外科学講座・教授 芳澤 享子</li> <li>・口腔顎顔面外科学講座・教授 栗原 祐史</li> <li>・口腔顎顔面外科学講座・助教 佐藤 工</li> <li>・口腔顎顔面外科学講座・助教 富士 安奈</li> <li>・口腔顎顔面外科学講座・助教 近藤 皓彦</li> <li>・病院 口腔外科・診療助手 金 唯眞</li> <li>・病院 口腔外科・診療助手 渡邊 遊理</li> </ul>   |
| 問い合わせ先                                | 松本歯科大学口腔顎顔面外科学講座 芳澤 享子<br>電話：0263-51-2066  |